

生成 AI 時代における レポート課題の再発見

『論題の設計と評価の原理』

生成 AI の登場により、学生が頭を使わず文章を生成する状況が広がっている。このような中で、「生成 AI を使いながら、学生がどのように頭を使ってレポートに取り組むか」という問いへの関心が高まっている。この問いは、しばしば生成 AI を活用して文章を修正し、レポートを完成させる方法論として議論されがちである。しかし、それだけでは、学生がレポート課題を通じて何を達成し、どのような力が身についたのかを十分に示すことはできない。まさに今、求められるのは、「レポート課題で学生にどのような貢献を求めるのか」という根本的な問いに立ち返ることである。生成 AI は、これまで見過ごされてきた課題を表面化させたにすぎない。

本講演では、レポート課題における論題のタイプを整理し、それらが求める具体的な貢献や評価のポイントを示す。これらの考察を通して、生成 AI を活用しつつ、学生が意義を見出しながら取り組める課題設計の方向性を提示する。

講師

成瀬 尚志 先生

大阪成蹊大学 准教授
(本学文学研究科 OB)

開催日

2025年2月14日 (金)

時間

10:40 ~

方式

Teams によるオンライン

お申込み：参加をご希望される方は、下記の URL または QR コードより申込フォームに入力し、登録してください。ご登録いただきましたメールアドレス宛てに、研修会視聴 URL をご案内させていただきます。

<https://forms.gle/kR8LD6FLhDsVs5Lk7>

